



キッズプラザ裏の小さな畑で大収穫。小さなものから大きなものまで、たくさんのジャガイモが採れました。土を掘ったら、ごろごろとジャガイモが出てくるので子どもたちは大喜び。一生懸命に掘っていました。参加した親子は、「ジャガイモで今晚のおかずは何にしようかな」と楽しそうでした。

取材：市民レポーター 佐々木悦子



▲こんなに採れたよ

◀ジャガイモ出ておいで

## おいもさんがごろごろ

ジャガイモ掘り

6月25日

キッズプラザ



カバーを付けてひたたくり予防



四條畷警察署長（中）、区長会会長（左）と共に市民に安全なまちづくりを呼びかける市長

## まちぐるみで 防犯対策

安全を考える日セミナー

7月1日

JR 住道駅前デッキ

生活安全条例に定められている「安全を考える日」。安全について考えようと防犯委員会の皆さんが中心になり啓発活動が行われました。安全なまちづくりのために、市民・市・警察が一体となって取り組んでいます。犯罪に遭わないためには、一人一人の安全意識を高めることが大切だと感じました。

取材：市民レポーター 戸田光俊



上手にこまを回せるかな

## 手作りの温かさ

アクロスクラフト・ギャラリー展

6月27日

アクロス

たくさんの出展者が集まって、手作りのクラフト作品展が行われました。手作りのはし置きやキーホルダー、革の小物などが展示・販売され、手芸をしている人の姿もありました。色鮮やかな彩色がほどこされた「江戸独楽」は、見た目にも楽しむことができます。昔なつかしいこま遊びに現代っ子も興味津々。回し方を熱心に聞きながら、こま回しに挑戦していました。

取材：市民レポーター 吉岡詩織

# フォトニュース

## 中国をより身近に

中国の修学旅行生と交流

7月14日 住道中学校

中国四川省にある中国成都市七中育才学校の生徒約60人が、日本文化を学ぶため日本を訪れました。その中で住道中学校を訪問し、1年生と交流しました。住道中学校の生徒は、トランプの遊び方や折り紙で鶴を折る方法を身振りで教え、中国の生徒もそれを理解しようとし、互いが意思を疎通させようと一生懸命でした。ある中国の生徒は「言葉が通じないところは不便だったけど、身振りとかでだんだんと伝わってきた。日本の子と交流できて楽しかった」と話していました。



どうしたら、鶴の折り方が伝わるかな



願い事がかなうといいな

## 星に願いを

大東七夕星まつり

7月7日 JR住道駅前デッキ

ダンスやバンド演奏などが披露されてにぎわいました。主催の大東商工会議所が設けた短冊を書くコーナーでは、子どもも大人も思い思いに短冊に願い事を書き、笹に飾り付けていました。



よく狙って

## 夢中になって、集中して

深北緑地の七夕縁日

7月4日 深北緑地

子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。無料で配られたポップコーンをほおぼりながら縁日を楽しむ人もいました。ヨーヨー釣りや輪投げに子どもたちが夢中になって挑戦しました。輪投げでは、一番得点の高いところに輪が入って大喜びする子がいたり、中国ごまやけん玉などのパフォーマンスを楽しむ人がいたり、梅雨の晴れ間にたくさんの笑顔がこぼれていました。

取材：市民レポーター 吉岡詩織